

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">地誌学 B</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>文学部文財3 回生 人間人社3 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">阪野 祐介</p>																														
<p>授業テーマ</p> <p>人びとの暮らしと地域・環境</p>																																
<p>授業の概要と目標</p> <p>地球上には、実にさまざまな人びとが暮らしています。そして、その多くの人びとは、地域の文化的背景や自然環境と関係しながら日々の暮らしを送っています。地誌学とは、その人びとの暮らしや、特有な文化的伝統、自然環境に注目しながら、地域の特性を明らかにする学問です。また地域といっても、世界レベルから身の回りの地域社会までさまざまなスケールが存在しています。したがって本講義では、地域を認識するための知識と方法を身につけてさまざまな問題について考えて下さい。</p>																																
<p>評価方法</p> <p>平常点（出席点）、および学期末レポートの成績により評価します。</p>																																
<p>テキスト</p> <p>なし。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>																														
<p>参考書</p> <p>地誌学概論 図説世界の地域問題</p>	<p>著者</p> <p>矢ヶ崎典隆他編著 漆原和子他編</p>	<p>出版社</p> <p>朝倉書店 ナカニシヤ出版</p>																														
<p>授業スケジュール・内容</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">1. 東南アジアの地誌（1）</td> <td>インドネシアの政治と文化。そして身近な生活の中に日本との関係を見つけ出そう。</td> </tr> <tr> <td>2. 東南アジアの地誌（2）</td> <td>ベトナムの政治と文化。そして身近な生活の中に日本との関係を見つけ出そう。</td> </tr> <tr> <td>3. 東南アジアの地誌（3）</td> <td>フィリピンの政治と文化。そして身近な生活の中に日本との関係を見つけ出そう。</td> </tr> <tr> <td>4. 中東の地誌（1）</td> <td>世界の石油エネルギー産出の中心としての中東。</td> </tr> <tr> <td>5. 中東の地誌（2）</td> <td>宗教（イスラム教）からみた中東地域。原理主義とは何か。</td> </tr> <tr> <td>6. オセアニアの地誌（1）</td> <td>自然環境と人びとの暮らし。雄大な自然と文化の関係について考える。</td> </tr> <tr> <td>7. オセアニアの地誌（2）</td> <td>人種問題からみたオーストラリア。</td> </tr> <tr> <td>8. アメリカ合衆国の地誌（1）</td> <td>アメリカの産業と世界のつながり。</td> </tr> <tr> <td>9. アメリカ合衆国の地誌（2）</td> <td>多様性と統一性の国アメリカ。多民族に着目する。</td> </tr> <tr> <td>10. ヨーロッパの地誌（1）</td> <td>EU とヨーロッパ産業。EU 内の多様な地域性を考える。</td> </tr> <tr> <td>11. ヨーロッパの地誌（2）</td> <td>EU 統合と地域的多様性。政治的・社会的・文化的背景を考える。</td> </tr> <tr> <td>12. ラテンアメリカの地誌（1）</td> <td>植民地と産業の展開。植民地化は何をもたらすのか。</td> </tr> <tr> <td>13. ラテンアメリカの地誌（2）</td> <td>植民地による人の移動と文化的混雑性。</td> </tr> <tr> <td>14. アフリカの地誌（1）</td> <td>アフリカ大陸の多様な自然環境。アフリカは砂漠だけではない。</td> </tr> <tr> <td>15. アフリカの地誌（2）</td> <td>植民地化と国家、そして現代の民族紛争。アフリカの植民地問題について考える。</td> </tr> </table>			1. 東南アジアの地誌（1）	インドネシアの政治と文化。そして身近な生活の中に日本との関係を見つけ出そう。	2. 東南アジアの地誌（2）	ベトナムの政治と文化。そして身近な生活の中に日本との関係を見つけ出そう。	3. 東南アジアの地誌（3）	フィリピンの政治と文化。そして身近な生活の中に日本との関係を見つけ出そう。	4. 中東の地誌（1）	世界の石油エネルギー産出の中心としての中東。	5. 中東の地誌（2）	宗教（イスラム教）からみた中東地域。原理主義とは何か。	6. オセアニアの地誌（1）	自然環境と人びとの暮らし。雄大な自然と文化の関係について考える。	7. オセアニアの地誌（2）	人種問題からみたオーストラリア。	8. アメリカ合衆国の地誌（1）	アメリカの産業と世界のつながり。	9. アメリカ合衆国の地誌（2）	多様性と統一性の国アメリカ。多民族に着目する。	10. ヨーロッパの地誌（1）	EU とヨーロッパ産業。EU 内の多様な地域性を考える。	11. ヨーロッパの地誌（2）	EU 統合と地域的多様性。政治的・社会的・文化的背景を考える。	12. ラテンアメリカの地誌（1）	植民地と産業の展開。植民地化は何をもたらすのか。	13. ラテンアメリカの地誌（2）	植民地による人の移動と文化的混雑性。	14. アフリカの地誌（1）	アフリカ大陸の多様な自然環境。アフリカは砂漠だけではない。	15. アフリカの地誌（2）	植民地化と国家、そして現代の民族紛争。アフリカの植民地問題について考える。
1. 東南アジアの地誌（1）	インドネシアの政治と文化。そして身近な生活の中に日本との関係を見つけ出そう。																															
2. 東南アジアの地誌（2）	ベトナムの政治と文化。そして身近な生活の中に日本との関係を見つけ出そう。																															
3. 東南アジアの地誌（3）	フィリピンの政治と文化。そして身近な生活の中に日本との関係を見つけ出そう。																															
4. 中東の地誌（1）	世界の石油エネルギー産出の中心としての中東。																															
5. 中東の地誌（2）	宗教（イスラム教）からみた中東地域。原理主義とは何か。																															
6. オセアニアの地誌（1）	自然環境と人びとの暮らし。雄大な自然と文化の関係について考える。																															
7. オセアニアの地誌（2）	人種問題からみたオーストラリア。																															
8. アメリカ合衆国の地誌（1）	アメリカの産業と世界のつながり。																															
9. アメリカ合衆国の地誌（2）	多様性と統一性の国アメリカ。多民族に着目する。																															
10. ヨーロッパの地誌（1）	EU とヨーロッパ産業。EU 内の多様な地域性を考える。																															
11. ヨーロッパの地誌（2）	EU 統合と地域的多様性。政治的・社会的・文化的背景を考える。																															
12. ラテンアメリカの地誌（1）	植民地と産業の展開。植民地化は何をもたらすのか。																															
13. ラテンアメリカの地誌（2）	植民地による人の移動と文化的混雑性。																															
14. アフリカの地誌（1）	アフリカ大陸の多様な自然環境。アフリカは砂漠だけではない。																															
15. アフリカの地誌（2）	植民地化と国家、そして現代の民族紛争。アフリカの植民地問題について考える。																															